

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	3	対象	HR11~HR16
担当者	富岡 麻紀、天野 友介、小沢 和光、植村 優里香						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)			LANDMARK Fit English Communication I 予習完成ノート (啓林館)			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson 1 What Can Blood Type Tell Us?		○進行形、助動詞、受動態を理解する。 ○「血液型で性格はわかるのか？」について、日本と海外の文化を比較する。 ○英語で挨拶や自己紹介をする。			40
	5	Lesson 2 Curry Travels around the World		○カレーのルーツとイギリスで普及した経緯を理解する。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○カレーなどの食べ物について意見交換する。 ○動名詞、現在完了形について理解する。			
	6	Lesson 3 School Uniforms		○日本と海外の制服事情について読み取る。 ○イラストを用いて、本文に出てくるユニフォームやエンブレムの特徴について説明する。 ○制服について意見交換する。			
	7	Lesson 4 Gorillas and Humans		○ゴリラの特徴についての説明文を読み取る。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○コミュニケーションスタイルや絶滅危惧種について調べ、意見交換する。			
2 学 期	9	Lesson 5 "gr8" or great?		○若者が用いる新種の言語についての本文を読み取る。 ○新種の言語の作り方や使われる理由について知る。 ○新種の言語について情報交換する。 ○関係代名詞、間接疑問文が使われている文章を理解する。			40
	10	Lesson 6 Biodiesel Adventure		○バスコファイブ号について読みとる。 ○周生さんが旅を通じて得たことを理解する。 ○自分の理想の旅について説明する。 ○好きな場所について、特徴や好きな理由など述べる。			
	11	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima		○世界遺産屋久島とエコツアーについて理解する。 ○屋久島の地理と気候について聞き取り、理解する。 ○イラストを用いて縄文杉の特徴について説明する。 ○エコツアーや屋久島について述べる。			
	12	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter		○長井さんのエピソードを読み取る。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○イラストを用いて説明する。 ○将来の夢や、長井さんについて意見交換する。			
3 学 期	1	Lesson 9 Space Elevator		○宇宙エレベーターについての本文を読みとる。 ○宇宙エレベーターの材質や利点を聞きとる。 ○イラストを用いて宇宙エレベーターについて説明する。 ○宇宙旅行や宇宙ビジネスについて意見交換する。			25
	2	Lesson 10 Friendship over Time		○トルコ航空機による日本人救出劇の概要を読む。 ○エルトゥールル号の事故の経緯を聞き取る。			
	3	Lesson 10 Friendship over Time		○トルコ人の生存者が帰国した経緯について説明する。 ○トルコと日本の友情について意見交換する。			
評価の観点		趣 旨			評価の方法		
知識・技能		基本的な単語、表現、文法を理解している。 理解した単語、表現、文法を正しく使うことができる。 英語を正しく発音することができる。			定期考査 小テスト 提出物 実技テスト		
思考・判断・表現		単語、表現、文法の知識を使って、まとまった文章を読み、書き手の考えを理解することができる。 単語、表現、文法の知識・技能を使って、自分の考えを表現することができる。			定期考査 小テスト 提出物 実技テスト		
主体的に学習に取り組む態度		筆者の考えを理解しようとする意欲を持っている。 相手と英語でコミュニケーションをとろうとする意欲を持っている。			定期考査 小テスト 提出物 実技テスト		

教科名	英語	科目名	英語表現 I	単位数	2	対象	HR11～16
担当者	富岡 麻紀、天野 友介、池田 真彩実、立石 健吾、植村 優里香						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
POLESTAR English Expression I (数研出版)			POLESTAR English Expression I ワークブック Grammar plus Listening (数研出版) LISTENING TRIAL Stage 1 (文英堂)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson1 I live in Yokohama 時制(1) Lesson2 We had two dogs 時制(2)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(現在形・現在進行形・過去形・過去進行形)を学び、正しく使えるようになる。			26
	5	Lesson3 We're all going to the movies tonight 時制(3) Lesson4 I've already had some sandwiches 時制(4)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(未来、予定を表す表現・現在完了形・現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形)を学び、正しく使えるようになる。			
	6	Lesson5 Can you swim 50 meters? 助動詞(1) Lesson6 You must wait until your fever goes 助動詞(2)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(助動詞)を学び、正しく使えるようになる。			
	7	Lesson7 Would you give me a hand? 助動詞(3) Lesson8 I may have left my umbrella on the train 助動詞(4)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(助動詞)を学び、正しく使えるようになる。			
2 学 期	9	Lesson11 I have too much homework to do 不定詞(1) Lesson12 Let me have a look 不定詞(2)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(不定詞)を学び、正しく使えるようになる。			26
	10	Lesson13 I like singing karaoke 動名詞 中間考査		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(動名詞)を学び、正しく使えるようになる。			
	11	Lesson9 It was closed down last month 受動態(1) Lesson10 It'll be repaired soon 受動態(2)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(受動態)を学び、正しく使えるようになる。			
	12	Lesson16 It's nearly as high as Tokyo Tower比較(1) Lesson17 What's the deepest lake in Japan? 比較(2)		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(比較)を学び、正しく使えるようになる。			
3 学 期	1	Lesson14 I felt really sad when I saw the Titanic going down 現在分詞と過去分詞		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(現在分詞・過去分詞)を学び、正しく使えるようになる。			18
	2	Lesson15 You looked really nice wearing a yukata at the festival 分詞構文		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項(分詞構文)を学び、正しく使えるようになる。			
	3	今までの総復習 学年末考査		該当範囲の語彙や表現を学び、与えられたトピックについて話したり書いたりする。 1年間に習った文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
評価の観点	趣 旨			評価の方法			
知識・技能	基本的な語彙や表現・文法事項を理解している。			定期考査 実技テスト Writing課題 提出物			
思考・判断・表現	学習した基本的な語彙や表現・文法を使って、自分自身のことや日常生活について伝えることができる。			定期考査 実技テスト Writing課題 提出物			
主体的に学習に取り組む態度	自分自身のことや日常生活について伝えようとしていたり、積極的に相手と英語でコミュニケーションをとろうとする意欲を持っている。			実技テスト Writing課題 提出物 授業態度			

教科名	外国語（英語）	科目名	ERP I	単位数	3	対象	1 学年
担当者	富岡 麻紀、天野 友介、高橋 佳寛、古畑 直樹、小沢 和光						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
なし			多読用図書、プリント				105
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	多読三原則の紹介 多読図書の読み方指導		・多読三原則が理解できる。 ・多読図書の読み方がわかる。			40
	5	【多読】 ・ORT、LLLなどの初歩的な本を読む。 【発表】 ① Ducks in Muck / Too many dogs ② Reading & Showing a Book		【多読】・代表的な多読用図書であるORTから多読を開始し、英語で基礎的な英語の本を理解できる。 【発表】①初歩的な音読用資料を、大きな声ではっきりと音読できる。 ②Eye contact/Voice/emotions/English/how to show the book/gesturesを考慮しながらORT stage2の本を読み聞かせができる。			
	6	【多読】 ・基礎を踏まえつつ、ORT、LLLなどのstage4以上の本を読む。		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、代表的図書のstage4以上の本を理解できる。			
	7	【発表】 ・Mini Radio Drama		【発表】 ・ラジオドラマの音読という設定で、Voice/emotions/Englishを考慮しながら初歩的な本の読み聞かせができる。			
2 学 期	9	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切に読書選択をさせる。 【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。 【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる。			40
	10	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切に読書選択をさせる。 【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。 【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる。			
	11	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切に読書選択をさせる。		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。			
	12	【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる。			
3 学 期	1	【English Camp発表】 ・課題発表を完成させる。		English Campで発表するRetellingの原稿と使用アイテムの完成と練習を実施する。			25
	2	【多読】 ・自分で選択した図書を読む。 ・English Campの反省と改善点を考える。		【多読】 ・自分で選択した図書を読む。 ・English Campの日記や感想文を完成させる。			
	3						
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		英語の多読の基本的な方法を理解し、実践することができる。ジェスチャー、視線、抑揚などを使いながら英語を話すことができる。				ファイル提出 発表 授業中の取組	
思考・判断・表現		分からない単語や表現の意味を、前後の文脈やイラストから推測することができる。ジェスチャー、視線、抑揚、強弱、間のとりかたなどを効果的に使って、表現することができる。				ファイル提出 発表 授業中の取組	
主体的に学習に取り組む態度		英語の本をたくさん読み、理解しようとしている。自分が伝えたいことをできるだけ、正確に、豊かに相手に伝えようとしている。				ファイル提出 発表 授業中の取組	

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	対象	高校2年生
担当者	柳田 健、古畑直樹、杉山朱美、小林由希						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)			LANDMARK Fit English Communication I ワークブック (啓林館) LANDMARK Fit English Communication I 予習完成ノート (啓林館)			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson1 I'm the Strongest!		○障がい者スポーツについて知る。 ○スポーツを通じた国枝選手の生き方を知る。 ○ifを使う間接疑問文を使えるようにする。 ○英語で自分の考えを発表する。			40
	5	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle 中間考査		○世界で認められている日本の文化について学ぶ。 ○新幹線の清掃と日本の美徳「おもてなし精神」について考える。 ○形式目的語のitが含まれる文章を理解する。			
	6	Lesson3 Saint Bernard Dogs Lesson4 Chanel's Style		○スイス人とセントバーナードの深い繋がりを読み取る。 ○現在完了形の受動態を使って、動物と人間の関係について発表する。 ○時代の変化とビジネスについてシャネルの人生から読み取る。 ○自分の将来について簡単なスピーチをする。			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Lesson5 Science of Love		○恋に落ちる原因について科学で解明できるのか読み取る。 ○do you thinkを含む疑問文を使って意見交換する。 ○科学的な語彙を増やす。			40
	10	Lesson6 Gaudi and His Messenger 中間考査		○ガウディと外尾さんに共通する生き方や本文のメッセージを読み取り、意見交換する。 ○分詞構文を理解し、使えるようにする。 ○サグラダファミリアや世界の建築物について調べる。			
	11	Lesson7 Letters from a Baatlefield Lesson8 Edo: A Sustainable Society		○硫黄島の戦いの経緯を歴史的観点で学ぶ。 ○反戦、平和、家族愛のテーマの観点で本文を読み取る。 ○「持続可能な」ものについて身近なテーマについて考え、発表する。 ○完了形の不定詞を使えるようにする。			
	12	期末考査					
3 学 期	1	Lesson9 AI and Our Future		○AIの進化は人間にとってどういう存在か、グループで意見交換する。 ○AIに仕事を取られないために、私たちが存在する価値はどのように見出し ていくか考える。 ○仮定法過去完了を使ってAIと人間のかかわりについて発表する。			25
	2	Lesson10 Bhutan: A Happy Country		○ブータンはなぜ幸せな国と呼ばれるのか、読み取る。 ○生徒にとって幸せな国とは、英語で発表する。 ○強調構文や部分否定を使って、自分の考えを表現できるようにする。			
	3	学年末考査					
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		○各単元について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。				○定期考査 ○音読テスト ○内容理解Q&A	
思考・判断・表現		○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自らの考えや意見を相手に伝えられるか。				○定期考査 ○音読テスト ○ミニスピーチ ○ディスカッション	
主体的に学習に取り組む態度		○主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。				○発言 ○ペアワーク、グループ活動への取り組み ○課題、提出物	

教科名	英語	科目名	英語表現II	単位数	2	HR21~26
担当者	植村優里香・古畑直樹・松井幸子					
使用教科書			使用教材			年間授業時数
MAINSTREAM ENGLISH EXPRESSION I(増進堂) MAINSTREAM ENGLISH EXPRESSION II(増進堂)			総合英語FACTBOOK English Grammar Core (桐原書店) 総合英語FACTBOOK English Grammar Core Workbook (桐原書店) 英語表現WORD SENSE Word to Sentence Basic Verbs (桐原書店)			70
学期	月	指導目標				時数
1 学 期	4	Mainstream I Lesson 11 Volunteer Activities エッセイライティング 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアについて、意見や伝えたり、話し合うことができる。</li> <li>動名詞の用法が理解できる。</li> <li>ボランティア活動についてエッセイを書くことができる。</li> </ul>			28
	5	Mainstream I Lesson 12 Japanese Food エッセイライティング 中間考査 分詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本食の特色や魅力について理解し、紹介できる。</li> <li>現在分詞、過去分詞の用法が理解できる。</li> <li>日本食の特徴がわかるエッセイを書くことができる。</li> </ul>			
	6	Mainstream I Lesson 13 Countries Around the World 関係代名詞 エッセイライティング 分詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪れたい国について、意見や伝えたり、話し合うことができる。</li> <li>分詞の用法が理解できる。</li> <li>訪れたい国についてエッセイを書くことができる。</li> </ul>			
	7	期末考査				
2 学 期	9	Mainstream I Lesson 14 Reduce, Reuse, Recycle エッセイライティング 比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミを減らすためにできることを話し合うことができる。</li> <li>比較の各用法の意味や働きが理解できる。</li> <li>ゴミ問題についてをエッセイを書くことができる。</li> </ul>			28
	10	Mainstream I Lesson 15 We Are What We Eat 関係詞 エッセイライティング 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活について、意見や伝えたり話し合うことができる。</li> <li>関係詞の用法が理解できる。</li> <li>現代の食生活についてをエッセイを書くことができる。</li> </ul>			
	11	Mainstream I Lesson 16 An Impressive Book 関係詞 エッセイライティング 関係詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の勧める本について表現することができる。</li> <li>関係詞の用法が理解できる。</li> <li>読書の価値についてをエッセイを書くことができる。</li> </ul>			
	12	期末考査				
3 学 期	1	Mainstream II Lesson 1 Self-Introduction エッセイライティング 仮定法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介をしたりや相手の紹介を理解することができる。</li> <li>仮定法の用法が理解できる。</li> <li>自己紹介に関するエッセイを書くことができる。</li> </ul>			14
	2	Mainstream II Lesson 2 A Place I Recommend You Go エッセイライティング 仮定法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の勧める場所について表現することができる。</li> <li>仮定法の用法が理解できる。</li> <li>自分の勧める場所についてをエッセイを書く。</li> </ul>			
	3	学年末考査				
評価の観点	趣 旨				評価の方法	
知識・技能	○各単元について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。				○定期考査 ○小テスト	
思考・判断・表現	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自らの考えや意見を相手に伝えられるか。				○定期考査 ○ミニスピーチ ○ディスカッション	
主体的に学習に取り組む態度	○主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。				○発言 ○ペアワーク、グループ活動への取り組み ○課題、提出物	

教科名	英語	科目名	ERPII	単位数	2	対象	2学年
担当者	柳田 健、松井幸子、池田真彩実、栗原光子						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
なし			<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読図書</li> <li>・プリントなど</li> </ul>				70
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Guess Who I am</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・あるキャラクターの自己紹介文を作り、発表する。</li> </ul>			28
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Guess Who I am</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・あるキャラクターの自己紹介文を作り、発表する。</li> </ul>			
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Dramatizing</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・劇の台本を書き、それを演じることで、生きた英語を学ぶ。</li> </ul>			
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> </ul>			
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Presentation for School Trip</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・日本文化について、紹介する。</li> </ul>			29
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Presentation for School Trip</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・日本文化について、紹介する。</li> </ul>			
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・Presentation for School Trip</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・日本文化について、紹介する。</li> </ul>			
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> </ul>			
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・スピーチコンテスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・自分で選んだ題材に関してスピーチ原稿を書き、発表する。</li> </ul>			13
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多読</li> <li>・スピーチコンテスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。</li> <li>・自分で選んだ題材に関してスピーチ原稿を書き、発表する。</li> </ul>			
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチコンテスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチコンテストの実施</li> </ul>			
評価の観点	趣 旨				評価の方法		
知識・技能	正しい英語の文法・語法を用いて、正しい発音で英語を使うことができる。単語や表現の知識を使って、書かれている英文を理解することができる。				課題、発表、提出物		
思考・判断・表現	理解している語や文法知識を利用して、文章で伝えられている物語の流れや、話し手の考えを理解することができる。自分で作った英語の文章を、聞き手に分かりやすいように表現し、伝えることができる。				課題、発表、提出物、取り組み		
主体的に学習に取り組む態度	英語の文章の理解を、繰り返し行い、読書活動を振り返り、記録することができる。発表活動に向けての準備を段階的、計画的に取り組み、意欲を持って取り組むことができる。				課題、発表、提出物、取り組み		

教科名	英語	科目名	英語演習 I	単位数	2	対象	第2学年選択者
担当者	松井 幸子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
			Tetra3 4技能対応総合問題集 (啓隆社) Reading Core 2 (啓隆社)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Tetra 3 Unit 1, 2 Reading Core 2 第1,2回 ATR (オンラインによる学習)		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			28
	5	Tetra 3 Unit 3, 4 Reading Core 2 第3~5回 ATR (オンラインによる学習) 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			
	6	Tetra 3 Unit 5, 6 Reading Core 2 第6~9回 ATR (オンラインによる学習)		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Tetra 3 Unit 7, 8 Reading Core 2 第10~12回 ATR (オンラインによる学習)		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			28
	10	Tetra 3 Unit 9, 10 Reading Core 2 第13~15回 ATR (オンラインによる学習) 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			
	11	Tetra 3 Unit 11, 2 Reading Core 2 第16~18回 ATR (オンラインによる学習)		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			
	12	期末考査					
3 学 期	1	Tetra 3 Unit 13, 14 Reading Core 2 第19~21回 ATR (オンラインによる学習)		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			14
	2	Tetra 3 Unit 15 Reading Core 2 第22~24回		<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、実力を高める。</li> <li>速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。</li> <li>英検で各自ターゲットとする級に近づく。</li> </ul>			
	3	学年末考査					
評価の観点	趣 旨					評価の方法	
知識・技能	○各単元について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。					○定期考査 ○小テスト	
思考・判断・表現	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自らの考えや意見を相手に伝えられるか。					○定期考査 ○ペアワーク	
主体的に学習に取り組む態度	○主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。					○発言 ○ペアワーク、グループ活動への取り組み ○課題、提出物	

教科名	外国語（英語）	科目名	英語理解	単位数	3	対象	第2学年 選択者
担当者	柳田 健						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
・該当なし			・Four Corners 2 Cambridge University Press社			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・ Four Corners 2 Unit 1		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			40
	5	・ Four Corners 2 Unit 1, 2		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
	6	・ Four Corners 2 Unit 2		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
	7	・ Four Corners 2 Unit 2		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
2 学 期	9	・ Four Corners 2 Unit 3		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			40
	10	・ Four Corners 2 Unit 3, 4		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
	11	・ Four Corners 2 Unit 4		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
	12	・ Four Corners 2 Unit 4		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
3 学 期	1	・ Four Corners 2 Unit 5		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			25
	2	・ Four Corners 2 Unit 5		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
	3	・ Four Corners 2 Unit 5		英語で書かれた指示文を理解し、指示に従って活動する。 辞書を正しく使えるようにする。 オーセンティックな英語を理解する。			
評価の観点	趣 旨				評価の方法		
知識・技能	単語の意味・用法を理解し、使えるようにする。 辞書の使い方、辞書記号の読み方・意味、発音記号の読み方を理解する。				考查、課題、提出物		
思考・判断・表現	既知の単語や文法を利用し、書かれた文章の意図や考えを正しく理解する。 知りえた情報について、自分の考えを英語を用いて表すことができる。				考查、課題、提出物、取り組み		
主体的に学習に取り組む態度	未知の単語、文章、概念などについて、積極的に理解しようと取り組む				考查、課題、提出物、取り組み		

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	対象	3学年
担当者	小野澤結実、高橋佳寛、栗原光子、立石健吾						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
LANDMARK Fit English CommunicationⅢ (啓林館)			LANDMARK Fit English CommunicationⅢワークブック (啓林館) LANDMARK Fit English CommunicationⅢ予習完成ノート (啓林館) Listening Pilot Level 3 (東京書籍)			140	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson1 Emperor Penguins		○南極の厳しい環境を生き抜く皇帝ペンギンの生態を知る。 ○既習の表現を使い、世界のペンギンの種類についてペアでプレゼンテーションできる。			60
	5	Lesson1 Emperor Penguins Lesson2 Caffeine 中間考査		○南極の環境問題にも目を向け、自分たちに何ができるのか意見交換できる。 ○様々な飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点を知る。			
	6	Lesson2 Caffeine Lesson3 Blood Is Blood		○日々の生活でカフェインの効果はどのように表れるのか、英語で考えを述べられる。 ○血液の研究と人種差別撤廃に生涯を捧げた黒人医師について知る。			
	7	Lesson3 Blood Is Blood 期末考査		○黒人差別の時代、現代社会での差別について理解を深め、自らの考えを英語で言える。または書くことができる。			
2 学 期	9	Lesson4 Biomimetics		○自然を模倣することで生み出される画期的な製品について知る。 ○身の回りでbiomimeticsをどのように作れそうか、アイデアを出し合い、医療、環境などについて考えられる。			60
	10	Lesson5 Communication without Words 中間考査		○ノンバーバルコミュニケーションについて身近な例、それに込められたメッセージについて学ぶ。 ○世界のボディランゲージについて学び、異文化理解のきっかけとする。			
	11	Lesson6 Christmas Truce		○第一次世界大戦の戦場で起きたクリスマスの奇跡について知る。 ○戦争、クリスマス休戦、西部戦線での知識を深める。			
	12	Lesson6 Christmas Truce 期末考査		○歴史を知ったうえで、現在の戦争、願う未来とは何か、英語でスピーチができる。			
3 学 期	1	Lesson7 Political Correctness 学年末考査		○差別や偏見のない中立的な用語の利用とその問題点について理解を深める。 ○日本におけるpolitical correctnessとは何か身近な例を用いて自分の考えを英語で伝えられる。			20
	2						
	3						
評価の観点	趣 旨				評価の方法		
知識・技能	○各単元について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。				○定期考査 ○音読テスト ○内容理解Q&A ○プレゼンテーション		
思考・判断・表現	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自らの考えや意見を相手に伝えられるか。				○定期考査 ○音読テスト ○ミニスピーチ ○ディスカッション		
主体的に学習に取り組む態度	○主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。				○発言 ○ペアワーク、グループ活動への取り組み ○課題、提出物		

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2	対象	第3学年
担当者	杉山朱美、池田真彩実、高橋佳寛、小林由希						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
Mainstream English Expression II (増進堂)			Mainstream English Expression II Workbook (増進堂) 発信に繋がる英語構文91 (数研出版)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson2 A Place I Recommend You Go		時制の用法が理解できる。 自分のお勧めする場所についてのエッセイを書くことができる。			28
	5	Lesson7 My Favorite Way to Eat Curry 中間考査		分詞の用法が理解できる。 カレーについてのエッセイを書くことができる。			
	6	Lesson5 A Memory of Childhood		名詞と数の用法が理解できる。 自分の子ども時代についてエッセイを書くことができる。			
	7	Lesson8 The History of Mobile Phones in Japan 期末考査		比較の用法が理解できる。 日本の携帯電話についてエッセイを書くことができる。			
2 学 期	9	Lesson9 Family Rules		動名詞、第5文型の用法が理解できる。 家族のルールについてエッセイを書くことができる。			28
	10	Lesson10 Manga in School Libraries 中間考査		関係詞、thatの用法の用法が理解できる。 マンガについてのエッセイを書くことができる。 Eメールの形式の英文を書くことができる。			
	11	Lesson11 What We Can Do for the Environment		否定、不定詞の応用表現が理解できる。 環境についてのエッセイを書くことができる。			
	12	Lesson12 Are Animals in Zoos Happy? 期末考査		分詞構文、譲歩の用法が理解できる。 動物についてのエッセイを書くことができる。			
3 学 期	1	Lesson20 In Ten Years		エッセイライティングのまとめ			14
	2	卒業考査					
	3						
評価の観点		趣 旨			評価の方法		
知識・技能		各文法項目の知識を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。			定期考査 エッセイライティング		
思考・判断・表現		モデルエッセイを通じて、適切な表現方法を判断し、自らの思考を表現することができるか。			定期考査 エッセイライティング		
主体的に学習に取り組む態度		書くことや話すことをにおいて、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。			取り組み 提出物		

教科名	英語	科目名	ERPⅢ	単位数	2	対象	3 学年
担当者	小野澤結実、杉山朱美、小沢和光、立石健吾						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
なし			・多読図書 ・プリントなど				70
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・多読 ・CSR/Table for Two		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・好きな企業を選び、その企業のCSR活動についての対話を作り、ペアで発表する。			30
	5	・多読 ・CSR/Table for Two		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・好きな企業を選び、その企業のCSR活動についての対話を作り、ペアで発表する。			
	6	・多読 ・CSR/SDGs		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・好きな企業を選び、その企業のCSR活動についてSDGsの観点も含んだ個人でのプレゼンテーションとして発表する。			
	7	・多読 ・CSR/SDGs		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・好きな企業を選び、その企業のCSR活動についてSDGsの観点も含んだ個人でのプレゼンテーションとして発表する。			
2 学 期	9	・多読 ・Mini TED		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・解決したい社会問題をひとつ選び、TEDをモデルにしながらスピーチする。			30
	10	・多読 ・Mini TED		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・解決したい社会問題をひとつ選び、TEDをモデルにしながらスピーチする。			
	11	・多読 ・Speech about CHS		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・3年間の高校生活で最も印象に残ったことをスピーチする。			
	12	・多読 ・Speech about CHS		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・3年間の高校生活で最も印象に残ったことをスピーチする。			
3 学 期	1	・多読 ・Speech for the dream		・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・卒業後の夢、将来の夢についてスピーチすることができる。			10
	2						
	3						
評価の観点	趣 旨				評価の方法		
知識・技能	「基礎学力」 自分が理解できるレベル／内容の多読図書を選択ができ、ある程度理解できる。また、課題として提示されたプレゼンテーションを個人やペアできちんと取り組むことができる。				○提出物 ○発表 ○取り組み		
思考・判断・表現	「異文化理解」 多読図書を読みながら、異なる文化も等しく価値があるものとして接することができる。またプレゼンテーションに取り組みながら、クラスメートやALTもまた異文化を持つものとして理解しようと積極的に接することができる。				○提出物 ○発表 ○取り組み		
主体的に学習に取り組む態度	「コミュニケーション力」 相手の考えを理解しようと努め、自分の考えを持つことができる。また日常的な話題で他者と交流することができる。				○提出物 ○発表 ○取り組み		

教科名	外国語	科目名	英語演習 II	単位数	2	対象	第3学年 選択者
担当者	栗原光子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
			英語4技能型テストへのアプローチ (数研出版) Reading Gym 入試編 (数研出版)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学期	4	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 1 Reading Gym 入試編 第1回~第3回		4技能領域を体系的に学び、基礎力をつける。リスニング力 (短い応答) に焦点を当てる。			28
	5	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 2 Reading Gym 入試編 第4回~第7回		4技能領域を体系的に学び、基礎力をつける。リーディング力 (資料読み、要約) に焦点を当てる。			
	6	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 3 Reading Gym 入試編 第8回~第11回		4技能領域を体系的に学び、基礎力をつける。ライティング力 (写真描写、短い応答)、スピーキング力 (状況説明) に焦点を当てる。			
	7	期末考査					
2 学期	9	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 4 Reading Gym 入試編 第12回~第15回		4技能領域を体系的に学び、実践力をつける。リスニング力 (講義、その他) に焦点を当てる。			28
	10	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 5 Reading Gym 入試編 第16回~第19回		4技能領域を体系的に学び、実践力をつける。リーディング力 (長文) に焦点を当てる。			
	11	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 6 Reading Gym 入試編 第20回~第23回		4技能領域を体系的に学び、実践力をつける。ライティング力 (自由英作文)、スピーキング力 (プレゼン) に焦点を当てる。			
	12	期末考査					
3 学期	1	英語4技能型テストへのアプローチ TEST 7 Reading Gym 入試編 第24回		4技能領域を体系的に学び、実践力を完成する。ライティング力 (自由英作文)、スピーキング力 (プレゼン) に焦点を当てる。			14
	2	卒業考査					
	3						
評価の観点		趣 旨			評価の方法		
知識・技能		各文法事項について正確に理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用で知る知識・技能を身につけようとしているか。			小テスト、提出物、定期考査		
思考・判断・表現		情報や考えなどを適切に理解し、状況に応じて適切に伝達したりする力を身につけようとしているか。			小テスト、提出物、定期考査		
主体的に学習に取り組む態度		主体的に英語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度が養われているか。			授業への取り組み、提出物、発表		

教科名	外国語（英語）	科目名	時事英語	単位数	2	対象	3学年（選択科目）
担当者	小沢 和光						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
なし			CNN Comprehensive Trainer 2021 その他プリントや視聴覚素材			70	
学期	月	指導内容		指導目標		時数	
1 学 期	4	News 1 Deeply Disturbing		CNNニュースの速さに慣れることを最初の目標とする。視聴覚機器も活用し、各ニュースの主題を理解できる。		30	
	5	News 2 Vaping's Pitfalls		CNNニュースの速さに慣れることを最初の目標とする。視聴覚機器も活用し、各ニュースの主題を理解できる。			
	6	News 3 No Age Barrier		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。			
	7	News 4 Labor Pains		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。			
2 学 期	9	News 5 Giving Currency to History		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。		30	
	10	News 6 Suspicious of Technology		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。			
	11	News 7 Youths Demand Their Future		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。教材以外の時事英語にも触れ、自らの考えを深め、発信することができる。			
	12	News 8 From the Comfort of Home		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。教材以外の時事英語にも触れ、自らの考えを深め、発信することができる。			
3 学 期	1	News 9 Edible Ecofriendliness		CNNのニュース素材をリスニング、リーディングで理解した上で、自らの考えをまとめ、ライティング等で発信できる。教材以外の時事英語にも触れ、自らの考えを深め、発信することができる。		10	
	2						
	3						
評価の観点	趣 旨				評価の方法		
知識・技能	「異文化理解」 CNNのニュース素材等を通じ、時事的な話題に触れ、世界に関する知識を得、内容を理解するための技能を身につけることができる。				○ 考査 ○ 提出物		
思考・判断・表現	「情報活用」 それぞれのニュースの主題を理解した上で自らの思考を深め、様々な情報も活用しつつ、自らの考えを表現することができる。				○ 考査 ○ 提出物		
主体的に学習に取り組む態度	「コミュニケーション力」 他者と積極的に関わりながら、授業に参加することができる。また、授業外でも主体的に取り組み、課題を提出することができる。				○ 提出物 ○ 取組状況		